

保健医療学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 2026年度カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー
(卒業認定・学位授与の方針)

Ⅰ. 知識・技能	
1	人間力を培うための幅広い教養を身につける。
2	人体に関する専門的な科学・医学知識を身につける。
3	科学・医学の知識を用いて言語聴覚士に必要な知識と技能を身につける。
4	語学力と情報リテラシー能力を高め、適切に表現できる能力を身につける。

Ⅱ. 思考力・判断力・表現力	
1	自分の考えを論理的に、対象者が理解できるよう説明することができる。
2	対象者の病態を科学・医学知識をもとに分析し、評価することができる。
3	一人ひとりの病態・発達段階に合わせた言語聴覚支援ができる。
4	一人ひとりの生活・社会背景に合わせた支援ができる。
5	言語聴覚支援を通して医療全般に関する諸問題を発見・分析し、解決を図ることができる。

Ⅲ. 主体性・多様性・協働性	
1	多様な価値観を受容し、他者と関連づけてとらえることができる。
2	他の専門職と協働しながら諸問題の解決を図ることができる。
3	医療職として福祉社会に貢献しようとする強い意志と意欲を持ち続けることができる。

	1年次 一般教養を学ぶとともに、 医療専門職に必要な基礎科学の 知識を身につけます。	2年次 教養と基礎科学の知識をさらに磨き、 リハビリテーションの専門知識・技能を 学びます。	3年次 各専門領域を学修するとともに、 実習によるリハビリテーション技能の 向上を図ります。	4年次 臨床実習による知識と技能の さらなる向上をめざすとともに、 卒業研究を行います。	
基礎分野	基礎教養	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ		基礎 分野
	総合教養	総合教養			
	言語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ オーラルコミュニケーション フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語	医療英語 総合英語Ⅲ		
	情報と伝達	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ データサイエンス入門			
	健康とスポーツ	保健体育 体育実技			
	自然と科学	基礎数学 生物学入門 基礎科学概論 生命科学概論 統計学			
	人間と社会	哲学 人間学 倫理学 心理学 法学 日本国憲法 人権教育 経済学 政治学 社会学 国際関係論 日本史と世界 社会福祉概論 多文化と共生			
	キャリア教育		医療キャリアデザイン		
	基礎医学	解剖学 解剖学演習 生理学 医学総論	病理学	薬理学	
専門基礎分野	自然科学		栄養学		専門基礎 分野
	臨床医学		内科学・生活習慣病 神経内科学 耳鼻咽喉科学 小児科学 精神医学 救急医療 医療安全・感染症学	リハビリテーション医学	
	臨床歯科医学		臨床歯科医学		
	音声・言語・聴覚医学	音声・言語・聴覚医学			
	心理学		発達心理学 学習・認知心理学	臨床心理学 心理測定法	
	言語学・音声学	言語学・音声学Ⅰ	言語学・音声学Ⅱ	言語学・音声学Ⅲ	
	音響学	音響学			
	言語発達学	言語発達学			
	社会福祉・教育	リハビリテーション概論 障害者福祉論 老人福祉論	公衆衛生学		
	社会科学	人間発達学	生命倫理学		
	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害基礎セミナー 言語聴覚障害概論Ⅰ	言語聴覚障害演習 言語聴覚障害概論Ⅱ	言語聴覚障害学総論 言語聴覚障害学各論	
	地域言語聴覚療法学		地域言語聴覚療法学		
	失語・高次脳機能障害学		失語・高次脳機能障害学概論Ⅰ 失語・高次脳機能障害学概論Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ	失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ	
	言語発達障害学		言語発達障害学Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅰ	言語発達障害学Ⅱ 言語発達障害学演習Ⅱ	
専門分野	発声発語・摂食嚥下障害学	発声発語・摂食嚥下障害学Ⅰ	発声発語・摂食嚥下障害学Ⅱ 発声発語・摂食嚥下障害学Ⅳ 発声発語・摂食嚥下障害学演習Ⅰ	発声発語・摂食嚥下障害学Ⅲ 発声発語・摂食嚥下障害学Ⅴ 発声発語・摂食嚥下障害学演習Ⅱ	専門 分野
	聴覚障害学	聴覚障害学Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅰ	聴覚障害学Ⅱ 聴覚障害学演習Ⅱ	聴覚障害学Ⅲ	
	言語聴覚療法管理学			言語聴覚療法管理学Ⅰ 言語聴覚療法管理学Ⅱ	
	臨床実習基礎		臨床実習基礎Ⅰ 臨床実習基礎Ⅱ	臨床実習基礎Ⅲ	
	臨床実習		臨床実習Ⅰ	臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ	
	卒業研究			卒業研究	

※赤字は卒業必修科目